

ウェアラブルカメラで現場と映像共有 オプション

遠隔にいる管理者・支援者などと現場の状況を映像でリアルタイムに把握できるため、作業者に迅速で的確な指示を行うことも可能です。また作業者はウェアラブルカメラを使用することで、画像・音声で指示を受けながら、両手を使って作業することができます。



主な機能

No.	機能	内容	ポイント
1	作業計画立案・管理	年間作業計画・実績 月間作業計画・実績	作業計画、報告書、手順書の 作業計画・実績管理の手間を軽減 作業の未済・遅延を管理し、作業漏れを防止
2	日次 作業管理	<small>tablet</small> 作業実施	定期作業の実施 作業計画に基づき、当日実施作業の作業手順書を自動表示 作業手順書にマニュアル・画像を添付することで、 作業を標準化、知識・技能習得
3		稼働報告	テナント要請の報告 事故・故障の報告 定期作業他の報告 お客様による承認 作業結果を実績として自動反映し、不具合事項を表示 テナント要請、設備故障等ビル稼働状況を報告 従来のFAX・メール送付による日報提出、承認業務を電子化
4	月次報告	自動集計 トピックス、稼働状況のコメント	報告データを集計し、テナント要請の傾向分析に活用 設備故障、未済事項における対応を進捗状況の共有 ビルごとの強み、弱みをベンチマーク
5	<small>tablet</small> 統制管理	未済事項の一覧 現場一斉指示・フォロー 映像共有による状況把握・的確な指示	テナント要請、設備故障の未済事項を完結まで管理 複数現場への指示事項の展開を迅速化 故障発生時における正確な状況把握、 迅速・的確な現場指示

その他機能:設備台帳・修繕履歴管理、連絡先管理、エネルギー管理など

tablet タブレット端末・ウェアラブルカメラを活用した機能

・タブレット端末・ウェアラブルカメラを利用した現場作業管理、映像共有機能などの一部の機能は株式会社日立システムズ CYDEEN(サイディーン)フィールド作業支援サービスを利用したものです。
・ハード機器(パソコン、タブレット端末、ウェアラブルカメラなど)購入、および通信環境はお客さまご自身で準備いただきます。
・サービスの機能によりハード機器、および通信環境の動作環境が異なりますので、事前にご確認をお願いします。

「builshare」は、株式会社日立ビルシステムが登録商標出願中です。(2017年9月時点)

BUILCARE

株式会社日立ビルシステム

本社 101-8941
東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地(ワテラスタワー)
URL: <http://www.hbs.co.jp>

☎ 0120-7838-99 (カスタマーサポートセンター)

— サービスネットワーク 全国約350カ所 —

お問い合わせは…

本カタログは環境に配慮し、
植物油インキを使用しています。

BC-151 2017-9

ビル運営管理効率化支援サービス

BuilShare ビルシェア

HITACHI
Inspire the Next



運営管理業務に関わる情報を
クラウドで見える化

株式会社日立ビルシステム

いつでも どこでも だれでも

建物の運営管理業務をクラウドで解決!

過去の設備故障やテナント様対応、現場作業の実施状況など
建物の運営管理業務に関わるさまざまな情報を
パソコンやスマートデバイスを活用して一元管理するクラウドサービスです。

運営会社

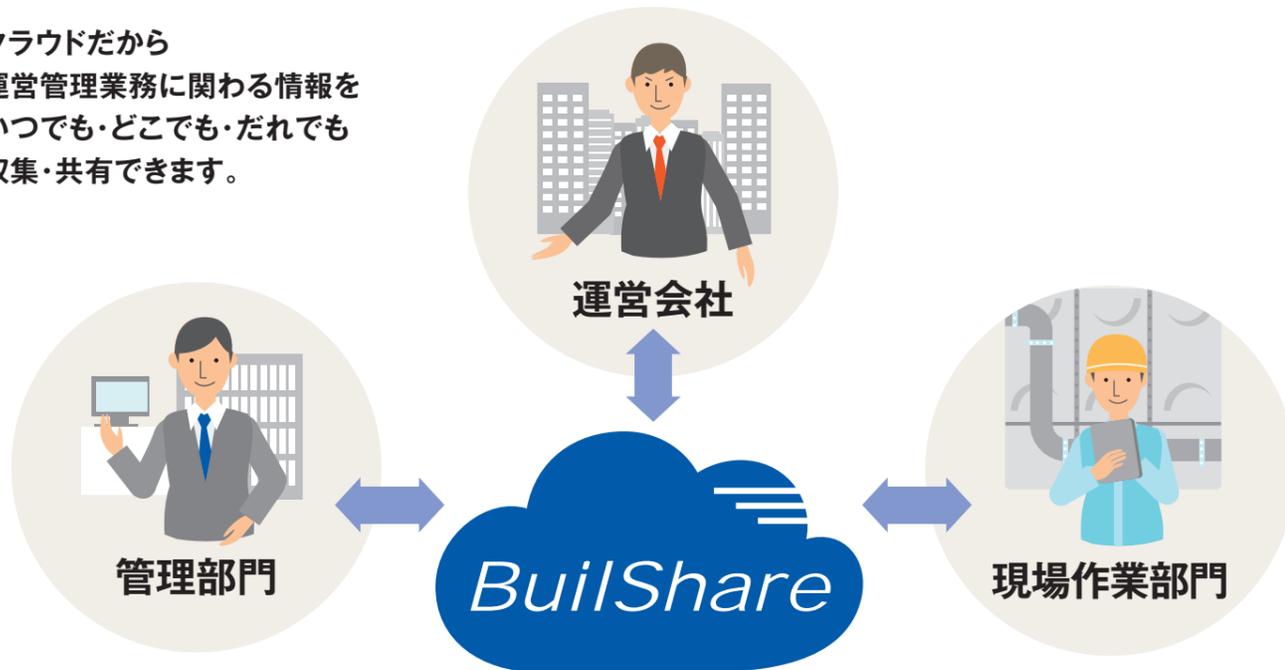
設備故障やテナント様の要請などについて傾向分析できます。

日々の稼働情報をもとに現場で発生している問題やテナント様の要請などについて、建物個別や複数建物で傾向の分析を容易に行うことができ、設備への投資判断の材料として活用できます。

・建物ごとに報告項目・方法が異なる
・結果報告が中心で、建物の稼働情報を活かしていない

・管理品質を均一化し、建物の稼働状況をいつでもチェック
・建物ごとにベンチマークし設備改修計画の優先付け判断材料として活用

クラウドだから
運営管理業務に関わる情報を
いつでも・どこでも・だれでも
収集・共有できます。



管理会社

管理部門

現場の稼働状況をいつでも確認でき、
また報告のとりまとめ業務を軽減します。

現場に行かなくても未処理事項や作業進捗の情報を共有化、期限管理を徹底できます。また、現場での稼働情報を月次・年次で自動集計できるので、複数建物での比較や改善提案が容易にできます。

・現場で発生していることがリアルタイムでわからない
・レポートの取りまとめが煩雑

・現場が有期限で対応が必要な作業の進捗状況がわかる
・複数建物の取りまとめの手間を軽減し、効果的な改善提案を実現

現場作業部門

作業の記録・計画や実績管理、報告などの
現場作業者の負担を軽減します。

作業計画をもとに、作業手順の表示、作業実績、結果報告に情報展開できるので、各業務での同一情報の入力や実績管理にかかる手間を軽減します。また、日次で入力した稼働情報をもとに未処理事項を管理し、引継ぎ漏れを防止します。

・対応記録や実績管理、報告などの実作業以外の事務作業が多い
・未処理事項が引き継ぎできない

・作業計画から実施記録、報告に至るまで、データを一元化し、入力の負担を軽減
・他作業、管理部門との情報共有し引継ぎ漏れ防止

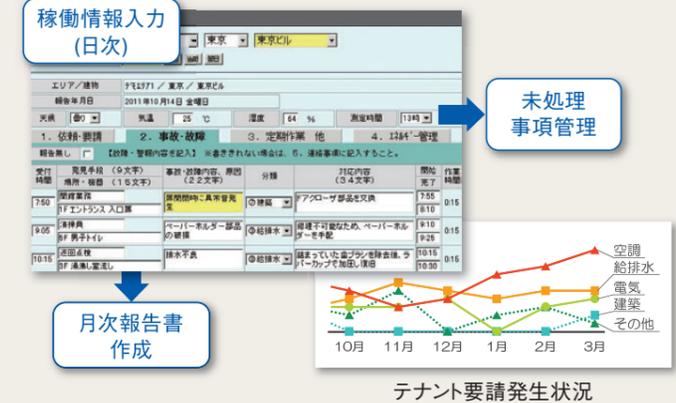
建物管理を知り尽くした日立ビルシステムだから提供できる機能群

リアルタイムに情報共有し、期限管理の徹底、報告業務の効率化

稼働情報をいつでもどこからでも画面上で確認できます。

また月次報告ではテナント様からの要請事項の件数やエネルギー使用量を項目別にグラフ化。

稼働状況の傾向把握・分析が容易になり、対応の優先度や設備投資への判断材料としてご活用いただけます。



作業手順を統一し、現場作業の品質維持、技術の継承

準備から実作業までの一連の流れを画面表示し、作業の標準化と作業品質の向上を図ることが可能です。また画面に動画などを盛り込み、熟練者の作業を教材とすることで知識・技能習得、現場ノウハウの継承が可能になります。



管理部門 作業者の現場到着や進捗を一目で把握

GPS機能の活用により電話連絡することなく作業者の現場到着が把握できます。また、リアルタイムに作業の進捗率・完了の状況や作業予定時刻との比較による作業進捗の遅延確認も行えます。

